

かざね
四万十の風音

しんせん
森&川だより

四校で木工クラフト教室

2月2日に大月町立大月小学校で二年生28名、2月17日は松野町立松野南小学校で一～六年生7名、2月24日は宿毛市立松田川小学校で一～二年生17名、2月29日は四万十市立東中筋小学校で三年生16名を対象に木工クラフト教室を行いました。

最初に、大月小学校では、木材の種類や長所・短所、木材を上手に使う工夫などパワーポイント等を使って学習しました。



大月小学校、木材の実験の様子



大月小学校、クラフト製作中

松田川小学校と東中筋小学校では、「森林のはたらき」についてパワーポイント等を使って学習しました。



松田川小学校、クラフト製作中



松田川小学校、完成後の集合写真

その後、大月小学校と松田川小学校、東中筋小学校では、小枝を使ったクマやフクロウのストラップ等作りの木工クラフト教室を開催しました。

先に木工クラフトの作り方を説明し、児童達が各キットをボンドで接着し、色つけをして作品が完成しました。



東中筋小学校、森林教室の様子



東中筋小学校、クラフト製作中

松野南小学校では、2月19日に同校で開かれた「ありがとう集会」（感謝祭）でこの一年間に小学校がお世話になった地域の方々にお礼のプレゼント用としての椅子の作製、また、自分用には小枝を使ったカニやフクロウなどのキーホルダー等を製作をしました。

各学校の児童達は、夢中になって製作し、それぞれの作品を完成させました。児童達より、「満足のいくものができたので宝物にします。」「家族にプレゼントしたいと思います。」等話してくれました。

今回の木工クラフト教室を通じて、木材に親しみ、木の持つ温もりを体感すると共に、森林の水を蓄える働きや土砂崩れを防止する働き、洪水や強風などから私達を守ってくれる防災の役割などの、「森林のはたらき」について理解してもらえたものと思います。



松野南小学校、椅子製作の様子



松野南小学校、椅子製作の様子



松野南小学校、完成後の集合写真



松野南小学校、製作したクラフト



松野南小学校、ありがとう集会



松野南小学校、ありがとう集会

森林教室を開催

2月23日、宿毛市立山奈小学校の全校児童九十四名を対象にした森林教室を開催しました。

昨年の12月3日に、一・二年生を対象とした木工クラフト教室を開催したところですが、校長先生から、「野生動物との共生や自然環境保護、特に森林の大切さについても児童達に教えてもらいたい。」との要請があったもので最初に、紙芝居「森」で、森林のことを低学年の児童にもわかりやすく説明しました。

次に「森林のはたらき」について講義しました。森林は地球に必要な美しい水や酸素



山奈小学校、森林教室の様子

第49号

をつくり、さまざまな生き物のすみかをつくっていること、洪水や強風、土砂崩れなどの災害から私たちを守ってくれていて、防災の役割などの大切な働きがあること、このはたらきを高めるためには、森林は人の手で手入れしていくことが必要であることについて学習しました。

最後に、「野生動物との共生や自然保護」について講義しました。近年、全国的にニホンジカやイノシシなどの一部の鳥獣が急増し、各地で食害等による農林産物への被害が深刻な状況となっていること、このため、増え過ぎたニホンジカやイノシシは捕獲によって減らし、農林産物の被害を防ぐことが必要なこと。捕ったニホンジカやイノシシについては、自然からの恵みとして、肉を食べたり、革や角でできた製品を使ったりすることで、命を無駄にしないことが大切であることについて学習しました。

桃の節句にヒノキのおひな様製作

3月3日、鬼北町立日吉小学校三年生6名と四年生4名の計10名を対象にした、木工クラフト教室を開催しました。

日吉小学校より、「簡単な木材を利用したおひな様を児童に作らせた。」との要請がありました。このため、桃の節句にあわせておひな様を製作をすることになりました。

最初に、下敷きとパネルを使って、「森林のはたらき」について説明しました。



日吉小学校、糸のこ作業の様子



日吉小学校、糸のこ盤作業の様子

次に、本題のおひな様製作です。男子児童4名には、糸のこの使い方を説明したあと板におひな様を描いたものを事前に準備し、糸のこで切らせました。また、糸のこでは切り抜けなかった箇所は電動糸のこ盤で切らせる体験もさせました。

第49号

一方、女子児童6名には、おひな様に切り抜いた板のパーツを事前に準備し、見本を参考に、各自が自由に色つけをして、ボンドでヒノキの台座に貼り付けて完成させました。また、男子児童の方も女子児童との進行の差はありましたが、おひな様を完成させることができました。

最後に児童より、「きれいなヒノキの木材を使っておひな様が作

れて楽しかった。作ったおひな様は大事に飾ります。」「森林のこと色々教えてくれてありがとうございました。」とお礼の言葉を戴きました。

今回の木工クラフト教室で、木の持つ温もりと、素材としての木材の良さについて十分に感じてもらえたものと思います。



完成したおひな様



日吉小学校、おひな様製作中



日吉小学校、完成後の集合写真

27年度のニホンジカ捕獲の成果

四万十川ふれあい推進センターでは、平成23年度から高知県四万十市の黒尊山国有林で、平成24年度からは滑床山及び黒尊山に接する愛媛県目黒山国有林で、地元の猟友会に委託を行い、「シカの囲いワナ」を設置してニホンジカの捕獲に取り組んでいます。平成27年度捕獲頭数は、2月末現在30頭です。これからも森林等被害の減少のために、微力ながら取り組んで参ります。



姿を見せた黒尊山周辺のシカ



姿を表した滑床山周辺のシカ



自動撮影カメラで捉えたシカ



中型の囲いワナで捕獲したシカ

平成27年度シカ捕獲実績(平成28年2月末現在)

捕獲場所	合計
黒尊山国有林周辺(高知県)	22
滑床山国有林周辺(愛媛県)	8
合計	30



林野庁 四国森林管理局
四万十川森林ふれあい推進センター
高知県四万十市西土佐西ヶ方586番地2
電話0880-31-6030 FAX 0880-31-6031

